

## 「なぜおしゃれをするのか？」

2015年12月19日(土)  
ルノアール銀座6丁目店 [2号室] (銀座)  
参加：16名  
司会・文責：堀越

## 1. 概要：

- 新規参加者2名を含む総勢16名で「おしゃれ」について考え、対話をしました。主に、「おしゃれとは何か？」「人はなぜおしゃれをするのか？」について考え、対話を深めました。

## 2. 対話：

- (0) 「川上未映子著：『モテ』と『おめかし』、関係あるのかな」から考えるおしゃれ
- きっかけとして、進行から川上未映子氏のエッセー\*1を紹介。「なぜおしゃれをするのかを考えたい」と問題を提起した。\*1：おめかしの引力：2013年6月12日より
- (1) 対話前：あなたはおしゃれに気を遣う方か？
- 対話の前に「あなたはおしゃれに気を遣うか？」を訊くと、遣う：14名、遣わない：1名という結果となった。おしゃれには気を遣わないという方になぜか？を訊くと下記のような考えであると回答：
    - 基本的には一年中同じスタイルで、温度調節のために、服を着たり、脱いだりしていく。
    - 妻が選ぶ服をそのまま着ているだけである。
- (2) これから語る「おしゃれ」について
- ここで対話する「おしゃれ」は、自分から（能動的・動詞的に）する行為を指すのか、他者から（受動的・形容詞的に）どう見えるのかの形容を指すのか。それをはっきりさせた方がいいと思う。→それは、一つの行為を能動側から見るか、受動側から見るかであるので、両方対象とすることとする。
  - 語る対象は、服装だけなのか。おしゃれの対象は、会話、部屋の内装、街並み等多岐に渡るはず。→この場合は、人の外見から見て分かるモノとして、服装、化粧（整形）、髪型、バッグ類等までとする。
- (3) 「おめかし」と「おしゃれ」の違いは？
- おめかしはいつもよりも良い、または高級な感じがある。一方、おしゃれはそうとは限らず、（ジーパンのリップトジーンズのようなケース）いつもよりも悪い、または低級な場合もある。
  - おめかしは普段より一段上で良い感じがある。一方、おしゃれはその他から差が付いている状態を言う。→しかし、日常生活では、「おしゃれ」という言葉である高級な状態を指すグループや一群があると思う。
  - おしゃれは流行と関係がありそうである。とは言え、流行から外れてもおしゃれな場合はある。
  - おめかしの語源の「めかす」は「見せかける」であり、「普段とは違う」「本来と違う」「無理をしている」という意味がありそうである。一方で、おしゃれの語源である洒落は、「洒落を言う」「駄洒落」等から格好だけではない。ここから、「自分で工夫する」「周りに影響を与える」という意味がありそうである。
  - おしゃれは、自分がやりたいようにやるのではダメであり、（キャビンアテンダント(CA)が制服を着た上でスカートの巻き方を工夫するように) 何かのルールやスタンダードにギリギリ抗う行為ではないか。
  - その人に「似合っている」「美しい」が基準になっている。「より美しく見える」という例は、過去に服を前後反転させる着方が流行ったが、理由は美しかったから。工夫（努力の痕跡）が必要かもしれない。
  - 女子としては、合コンよりも女子会の方がおしゃれの要求水準が高い。合コンは男子の視線を意識するので、少し“抜け”が必要となるが、女子同志では、その視線には“抜け”の要件がないから厳しい。
- (4) なぜおしゃれをするのか？
- 自分が加わる集団内の他者の視線を意識しておしゃれを考えるのであり、自分だけで閉じる訳ではない。
  - 「ルールに抗う」という表現が出たが同感であり、そこが大事で微妙なところであると思う。
  - 「なぜおしゃれをするのか？」という理由を突き詰めていくと、その集団において、おしゃれ（外見）で他者から優位に立とうとする意識があるのではないか。つまり、優劣の勝負があるのではないか。
- (5) 自分だけのスタイルを貫く場合、時と場合(TPO)を考える場合
- スティーブジョブズのように公の場でも、普段と変わらない白いTシャツにジーパンというスタイルはおしゃれだが、他者から優位に立ちたいという意図は見えない。服装だけでなく生き方になっている。→あの白いTシャツとジーパンを普通の人ややってもおしゃれには見えない。
  - 逆にTPOを考えて、その場の雰囲気に対応しい格好を選ぶこともおしゃれに欠かせない要素である。
  - 集団の中で好かれたいという意図を持つ場合がある。一方、自分のスタイルや拘りを貫こうとする場合もある。どちらもあるのではないか。
- (6) 集団の中での優位性確保が目的か？
- 集団の中で外見の優位に立ちたいという意図がおしゃれの動機という考えが出たが、（スティーブジョブズのスタイルのように）既に集団の中で優位に立つ人がする格好が結果的におしゃれであると評価される場合もあるのではないか。つまり、集団における優位性とおしゃれには相互作用があるのではないか。
  - 大昔は紫が高貴という時代があったが、お金をかけるというように、少数だからこそ価値があるという側面もありそうである。
  - 女性だけの集団ではその感情は複雑であり、格好が同じだけど違うものを求める。また単純な優越感とも違う。あまり飛び出てもいけないがギリギリで目立つ必要もあり、同化と差別化の境界にある。
- (7) 最終の目的は何か？
- おしゃれは一つの手段。おしゃれさに関する新しい情報を提供するという一手段だが、最終目的は何か。「他者から承認されたい」「受け入れられたい」という欲求があるのではないか。→(服の裏地におしゃれな刺繍を入れる等の)自分だけの世界で楽しむ趣味の領域のおしゃれもあるはず。よって、最終目的は他者からの承認欲求だけではなく、(誰も知らないのに自分だけが知っている)という自己充足・満足感も動機である場合がある。

## 3. まとめ：

- おしゃれの要件は、ルールのギリギリ境界を狙い、突出し過ぎてはならないという面白い特性を確認できた。
- 集団の中でのおしゃれが非常に微妙な問題を孕むことが再認識できたことは問題提起者として発見であった